

本号の特集は、「緩和ケアとしての理学療法」である。緩和ケアとは、単に身体症状のコントロールだけでなく、心のケアも並行して行い、対象者の QOL を総合的に高めることを目的とするものである。palliative care と hospice care とは、同義であるが、前者はイギリス、アメリカなどで、後者はフランス語圏で使用されているようである。わが国では、緩和ケア診療報酬料（1990 年）が設けられたこともあり、「ホスピス・緩和ケア」と称されるようになっていく。いずれにせよ、“ゆりかごから墓場まで”といった人間の生涯にわたるケアあるいは福祉国家を構築するためにも、理学療法士は緩和ケアに対して前向きに取り組む必要があることはいうまでもない。

末永氏には、「緩和ケアの課題と展望」と題して、長年医師として緩和ケアに関与してこられた経歴に基づいて、わが国の緩和ケアの課題に触れ、それに関与する各専門職のあり方や今後の展望を述べていただいた。藤腹氏には、「日本の文化と看取りの作法」と題して、仏教思想の影響が強い日本の文化を概観していただき、死生観ではなく生死観（生き死に）を育むことが、各専門職に期待される看取りの作法、姿勢として大切であることの示唆をいただいた。石井氏他には、「がん専門医療施設における理学療法士の役割」と題して、緩和ケアの対象となる疾患別データを供覧いただき、その概要と特性に触れ、理学療法士の役割について述べていただいた。内山氏他には、「スピリチュアルケアの一手段としての理学療法」と題して、緩和ケアのプロセスにおけるスピリチュアルケアの実践について、症例を呈示して具体的に述べていただいた。瀬戸口氏他には、「脳血管障害患者の終末期における実態と理学療法」と題して、脳血管障害終末期の判断条件に persistent vegetative state を用いて調査されたデータを供覧いただき、それに考察を加えて理学療法のあり方を述べていただいた。

本号では阿部氏に入門講座「ベッドサイドでの患者評価・5：関節リウマチ」を執筆いただき、川崎氏には講座として「医療安全と理学療法・2：医療機関における転倒・転落と具体策—事故を予防するのは環境やシステムではなく、人である」を執筆いただいた。また、投稿論文の中から採用となった 2 論文を掲載することができた。

(奈良 勲)

理学療法ジャーナル

(第 40 巻 第 11 号)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

2006 年 11 月 15 日発行(毎月 1 回 15 日発行)

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

電話 本誌編集室直通(03)3817-5703

定価 1,785 円(本体 1,700 円+税 5%)

(担当：松田・山崎)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

{ 2006 年年ぎめ予約購読料 22,920 円 }
(全 13 号、配送料弊社負担)

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2006, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ JICLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
五 味 重 春
福 屋 靖 子
横 山 巖

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
高 橋 哲 也
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
奈 良 勲
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 峯 三 郎
岡 西 哲 夫
岡 本 慎 哉
金 谷 さとみ
木 山 喬 博
小 塚 直 樹
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐々木 伸 一
佐 藤 秀 一
澤 田 三津子
高 口 光 子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘 弘
仲 貴 子
中 村 春 基
丹 羽 義 明
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
平 澤 有 里
福 井 勉
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
諸 橋 勇
山 田 英 司